

工業用水道事業会計
 主な収益の推移

(単位:千円)

項 目	平成29年度 決算	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 当初予算	令和3年度 当初予算	前年度増減
給水収益	1,313,788	※1,200,150	1,209,648	1,206,008	1,202,936	△ 3,072
共同施設管理収益	321,494	314,258	299,176	328,168	301,164	△ 27,004

※ 平成30年度より、責任水量制から二部料金制に移行

工業用水道事業会計

尼崎市の工業用水道

給水開始時期	昭和 32 年	
市内配水能力	170,000 m ³ /日	
市内の配水管総延長	62 km	
給水社数	52 社	
年間総配水量	21,367,000 m ³	(前年度比 -3.2%)
1 日平均配水量	58,540 m ³	
年間総給水量	21,169,000 m ³	(前年度比 -2.9%)
1 日平均給水量	57,997 m ³	

(1) 工業用水道事業の施設のあり方（配水場の設備更新ほか）

450,587

将来においても安定的に事業を継続していくため、共同施設である園田配水場等の設備保全を行うとともに、他事業体と連携した施設のあり方の検討などを行う。

(65,817)

- ・園田配水場集中監視制御設備更新工事
- ・一津屋取水場導水ポンプ用吐出弁及び逆止弁更新工事
- ・神崎浄水場工水配水ポンプ 等



園田配水場 供用開始：昭和 42 年

(2) 管路の計画的更新と維持管理

249,551

「重要度」「老朽度」「耐震性」の 3 つの観点から更新の優先順位を定め、配水管の整備工事を行う。

(480,854)

- ・配水管整備工事 337.0m
- ※ 管路の耐震化率 見込み 64.6%
- ※ 債務負担行為（3 年度提出分）金額 221,385